



小規模特認校事業

弥富小すずかけプラン

実行委員会だより

第1号
2015年
12月9日
発行

小規模特認校弥富小学校の学校公開が開催されました

佐倉市立弥富小学校長 深山 民夫

11月14日（土）に、小規模特認校の学校公開が弥富小学校で行われました。保護者、地域の方、市内からの参観者が多数お越しいただきましてありがとうございました。弥富小学校は、現在、全校児童52名です。ひとつの学年での児童数が10名に満たない学年もありますが、子どもたちは、素直で元気です。公開当日の授業においても、真剣に学習に取り組みました。また、全体での発表では、全校合唱、和太鼓演奏、合唱部の発表と立派に行いました。

全体発表の際には、佐倉市長の蕨様、地元市議会議員の山本様、佐倉市教育委員会教育長の茅野様他多くの方々にお越しいただきました。佐倉市長様は当初の予定を延長し、全体発表の最後までご覧くださり、児童へ励ましの言葉をくださいました。

4月の学校だよりの巻頭で述べさせていただきましたが、「学校が、児童が、明るく、元気に育つということは、学校をとりまく弥富地区も明るく、元気になることである。」と考えています。

この小規模特認校弥富小学校公開も、その一環で、児童のがんばっている姿を多くの人に見ていただきたいという思いで行ったものです。児童は、一所懸命練習し、当日にのぞみました。ゲームコーナーでは、幼稚園児や市内他地域から参観に来られたお子さんにも楽しんでもらえるようにと、高学年の児童とくに6年生が中心になって準備をしま

した。

今年度の公開は、昨年度の反省を活かし、時程を工夫しました。公開日を最終日とする学校参観の重点月間を設けました。不審者対策として、名札着用を徹底する機会とし、保護者、参観者の着用をお願いしました。

よい公開ができたと思います。これからも、充実した教育活動ができるように努力して参りたいと思います。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



2年生の授業風景(算数)



力強い 和太鼓の演奏

「すずかけプラン実行委員会だより」

を発行します

＜経緯＞

弥富小学校は児童数が減少傾向にあり、複式学級やさらには複々式学級の発生の恐れがあり教育活動に支障をきたす可能性がありました。そこで、佐倉市教育委員会では児童数の減少に歯止めをかけ、弥富小学校や弥富地区を活性化させるために弥富小学校と保護者、弥富地域住民、市校長会、市教委学務課職員が中心となって協議してきました。弥富地域での協議する窓口として、「すずかけプラン実行委員会」を組織しました。

平成20年には、「小規模特認校制度」として弥富小学校が市教育委員会から指定されました。この制度により、弥富小学校の学区が市内全域となり、市内の小学生であり、制度の趣旨に沿えれば弥富小学校に転入できることになりました。20年度以降、何度か複式学級が発生しましたが、小規模特認校制度により複式学級が解消されています。

平成27年12月1日現在、小規模特認校制度による転入学者が6名在籍しています。しかしながら、新たな複式学級が2、3年生で生じています。

＜実行委員会構成メンバー＞

次の方に、委員をお願いしています。市教育委員会学務課担当職員、地域代表、保護者代表、学校代表、幼稚園代表

＜実行委員会の活動目的、内容＞

これまで、弥富小学校を市民の皆様にご覧いただくために、「弥富小まつり」を開催するための計画や準備を行ったり、様々な広報活動を実施するための計画を立てたりすることを行ってきました。平成25年度からは、「弥富小まつり」から「弥富小学校公開」に変更し、授業公開に中心をおく計画に変更し、実施しています。す

ずかけプラン実行委員会の委員の方には、弥富小学校の活性化に向け、ご意見をいただき、広報活動に活かしています。

＜すずかけプラン実行委員会だより＞

弥富小学校児童の減少傾向は、現在も続いています。「小規模特認校制度」の広報はますます重要性を帯びています。弥富小学校の現状やすずかけプラン実行委員会での会議内容等を広く皆様に知っていただくことを通して、弥富小学校のさらなる活性化につながればと、このたよりを発行することとしました。

実行委員会(7月10日)から

※会議で交わされた質疑を、今回と次号に分けて掲載します。

意見 ある保護者の方は、運動会後の反省会の場で、「学区の小学校と弥富小の両方を見学した。うちの子には、小規模の弥富小の教育活動が合っていると思い入学させた。入学させてやはりよかった。」と言っている。

問 D I Cのバスの件は、どうなったか？昨年度、学務課へ相談に行った人がいるが、責任の所在が明確ではないということで、活用は難しいと聞いている。今、中・高校生でD I Cのバスを利用できるよう、坂戸の前区長が動いているが・・・。

問 関連して、京成・J R佐倉駅-D I C川村美術館を結んでいるバスに、区域外で弥富小学校へ通う子どもを相乗りさせてもらえないか？具体的に「何人乗る」ということを先方に伝えればできるのでは？

→ 現状、小規模特認校の要綱に「保護者が送迎するものとする。」という文言がある。また、登下校中も学校の管理下にあることを考えると、もし事故等のトラブルが起こった際に、責任問題が生じるため、教育委員会としては認められない。(学務課)

問 今年入った方はどんなふうにして、弥富小を知ったのか。

→ 公民館のポスターを見て、ホームページを見て、本校を知った。

(以下、次号へ)